

一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会 ニュース・レター No. 17

2009.9.1.

第23回学術集会 in 香川

テーマ 臨床から“智”をつむぐ研究へのウェブ

日時 平成22年3月7日(日)

開催地 香川大学医学部キャンパス

一般社団法人

日本看護研究学会中国・四国地方会事務局

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学医学部保健学科内



運営委員長 宮腰由紀子(広島大学大学院保健学研究科)

看護制度改革に向けた活発な論議の成果の1つとして、平成21年4月1日から看護教育の新カリキュラムが始まりました。更に、改正保健助成法が国会を通り、来年4月1日より施行されます。看護職への期待に応えるべく教育実践と臨床実践を支える知識や技術についての研究が、ますます重要になって参ります。そして、見出された新しい知識や正しい知識などの成果を会員の皆様にお伝えしていくことはもとより、その基盤となる研究方法などの検討と普及も、学会活動の大切な使命の1つであると存じ

ます。中国・四国地方会でも、そうした活動の充実に努力を重ねております。会員の皆様に有益で身近な地方会活動であるように、会員のお一人お一人の積極的な活動参加のもと一層努力して参りましょう。どうぞ、地方会学術集会の御参加はもとより、運営委員会などの活動へも御意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。



第22回学術集会が山口で開催されました

22回学術集会 (in 山口)
「臨床看護研究にいかす研究デザイン」

本年3月8日に、第22回日本看護研究学会中国・四国地方会を山口大学医学部で開催いたしました。「臨床看護研究にいかす研究デザイン」というテーマのもと、操華子先生(国際医療福祉大学)の特別講演、研究デザインに関するシンポジウム、3つの特別セミナー、および一般演題の発表などが行われました。参加者は176名で、各会場とも活発な意見交換があり、講演内容も大変有意義なものでした。

「研究デザイン」というと、大層なことで捉えてしまう傾向がありますが、研究を進める上で大切な設計図だと思っています。特別講演、シンポジウムでは、研究デザインに関する多くのものを学ぶことができました。今回の学びを踏まえ、質の高い看護研究を実施したいと実感した学術集会でした。最後に、ご参加いただいた皆様のご協力に感謝申し上げます。

第22回中国・四国地方会学術集会実行委員長 山勢博彰

第22回学術集会に参加して

香川大学医学部看護学科
西村美穂

今回、この学術集会に研究発表者として参加させていただきました。私は、ポスターで発表させていただきましたが、関心と同じくする研究者と至近距離で交流することができ、今後研究を続けていくための知見を得ることができました。また、他の研究者が用いている方法論等を見せていただいたり、特別講演、特別セミナーに参加させていただいたことで、学会のテーマである「研究デザイン」について様々な場面で学びを深めることができたと思います。





平成20年度事業報告

1. 第22回学術集会開催

実行委員長：山勢博彰 先生

(山口大学大学院医学系研究科)

日 時：平成21年3月8日(日) 9:00～16:30

場 所：山口大学医学部 総合研究棟内

テ ー マ：臨床看護研究にいかす研究デザイン

演 題：口演19題、示説18題(計37題)

参 加 者：(事前登録) 会員66人、非会員39人、学生1人

(当日参加) 会員36人、非会員31人、学生3人

(合 計) 176人

2. 平成20年度総会開催

日 時：平成21年3月8日(日) 11:30～12:00

場 所：山口大学医学部 総合研究棟内

3. ニュース・レター No.16の発行

平成20年9月 会員792名に送付

4. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第1回運営委員会会議(平成20年8月20日, 神戸市)

- ・第22回学術集会準備状況の説明
- ・ニュース・レターNo.16の原稿(案)およびホームページの更新(案)の検討・修正
- ・運営委員会委員の異動、アドレス変更等の確認
- ・平成21年度中国・四国地方会予算案の検討
- ・第23回学術集会実行委員長の検討⇒香川県
- ・第25回学術集会担当県の確定⇒広島県
- ・第21回学術集会の報告
- ・ご挨拶



(2) 第2回運営委員会会議(平成21年3月7日：山口大学)

- ・平成20年度事業報告
- ・平成20年度会計報告、監査報告
- ・平成21年度事業計画案
- ・平成21年度予算案

2) 学術委員会

(1) 第1回学術委員会(平成20年8月20日, 神戸市)

- ・第21回学術集会学術委員会企画“特別セミナー”および国際化に向けた基盤検討ワーキンググループによる“特別セミナー”の報告
- ・学術委員会企画“特別セミナー”の企画検討

(2) 第2回学術委員会(平成21年3月7日：山口大学)

学術委員会企画“特別セミナー”の打ち合わせ

(3) “特別セミナー”の開催

日 時：平成21年3月8日(日) 12:40～13:40

場 所：第22回学術集会会場

山口大学医学部総合研究棟内

セミナー1：宮腰由紀子 先生(広島大学)

「これから研究を始める人のために
何を見つける？ どのように見つける？
どのように伝える？」

セミナー2：マーシャA.ペトリニ先生

(山口県立大学)

「看護研究の進歩」

3) 広報委員会

(1) 平成20年度ニュース・レター16号を9月に発行

(2) 中国・四国地方会ホームページを9月に更新

平成20年度会計報告

【収入の部】

(単位：円)

費 目	20年度予算	20年度決算	差 異
前年度繰越金	218,789	218,789	0
地方会補助金	400,000	400,000	0
雑収入	304	410	106
合 計	619,093	619,199	106

【支出の部】

(単位：円)

費 目	20年度予算	H20年度決算	差 異
郵送費	80,000	72,100	-7,900
事務費	30,000	24,150	-5,850
人件費	30,000	29,600	-400
各種委員会活動費	80,000	42,870	-37,130
印刷費	90,000	55,650	-34,350
ホームページ管理費	40,000	18,375	-21,625
記念事業等積立金	20,000	20,000	0
ホームページ運用積立金	20,000	20,000	0
予備費	30,000	0	-30,000
次年度への繰越金	199,093	336,454	137,361
合 計	619,093	619,199	106

委員会より

【学術委員会】

第22回学術集会にあわせて3つの特別セミナーを行いました。学術委員会企画のものは、これから研究を始める人のためのものと、これまで研究してきた人のための2企画でした。前者は「何を見つける？ どのように見つける？ どのように伝える？」をテーマに運営委員長の宮腰由紀子先生(広島大学)に、後者は「看護研究の進歩」と題してマーシャA.ペトリニ先生(山口県立大学)にいただきました。いずれも学術集会のテーマと関連が深く充実していました。特別セミナー3は国際活動推進委員会主催の「英文抄録の書き方」で、上鶴重美先生によって昨年同様行われました。平成22年3月の学術集会においてもセミナーを計画しており現在準備中です。

(学術委員長：村上生美)

【広報委員会】

平成21年度はニュースレターNO17の発行および中国・四国地方会ホームページを更新し、会員の皆様へ情報提供と学術集会のご案内をいたします。看護の質の向上には、看護実践のエビデンスを実証研究によって明らかにすることが重要です。看護研究の成果を発表し、さらに研鑽する場として、日本看護研究学会および中国・四国地方会は重要な役割を果たしています。約33年前、前身の4大学看護研究学会が発足した頃から、この学会で学ばせていただいている私にとって、近年の学会の発展はとても嬉しいことです。広報活動を通して、この中国・四国地方会を支えていきたいと思ひます。

(広報委員長：猪下 光)

平成21年度事業計画

1. 第23回学術集会開催
 実行委員長：内藤 直子 先生（香川大学医学部看護学科）
 日 時：平成22年3月7日（日）
 場 所：香川県（香川大学医学部内）
2. 平成21年度総会開催
 日 時：平成22年3月7日（日）
 場 所：第23回学術集会会場（香川大学医学部内）
3. ニュース・レター No.17発行
 編 集：広報委員会
 発 行：事務局
4. 委員会
 - 1) 運営委員会
 - (1) 第1回
 日 時：平成21年8月3日（月）16：00～（予定）
 場 所：第35回日本看護研究学会学術集会会場（神奈川県）
 - (2) 第2回
 日 時：平成22年3月6日（土）
 場 所：第23回学術集会会場（香川大学医学部内）
 - 2) 学術委員会
 - (1) 第1回
 日 時：平成21年8月3日（月）運営委員会終了後
 場 所：第35回日本看護研究学会学術集会会場（神奈川県）
 - (2) 第2回
 日 時：平成22年3月6日（土）
 場 所：第23回学術集会会場（香川大学医学部内）
 - (3) 特別セミナー
 第23回学術集会にあわせて、企画、運営する
 - 3) 広報委員会
 - (1) ニュース・レター No.17発行（9月頃発行予定）
 - (2) 中国・四国地方会ホームページの更新

平成21年度予算

21年度より記念事業積立金は特別会計(記念事業等積立金)として扱い、ホームページ運用積立金は中止し特別会計(記念事業等積立金)に統合する。

【収入の部】

(単位：円)

費 目	20年度実績	21年度予算	差 異
前年度繰越金	218,789	336,454	117,665
地方会補助金	400,000	400,000	0
雑収入	410	410	0
合 計	619,199	736,864	117,665

【支出の部】

(単位：円)

費 目	20年度実績	21年度予算	差 異
郵送費	72,100	75,000	2,900
事務費	24,150	30,000	5,850
印刷費	29,600	30,000	400
各種委員会活動費	42,870	155,000	112,130
印刷費	55,650	60,000	4,350
ホームページ管理費	18,375	20,000	1,625
特別会計 記念事業等積立金 (ホームページ運用積立金)	20,000 (20,000)	20,000 (積立中止)	0 (-20,000)
予備費	0	10,000	10,000
次年度への繰越金	336,454	336,864	410
合 計	619,199	736,864	117,665

【特別会計(記念事業等積立金)収入の部】

(単位：円)

費 目	20年度実績	21年度予算	差 異
前年度繰越金	40,038	60,119	20,081
18～20年度のホームページ運用積立金を統合	0	60,119	60,119
当年度積立金	20,000	20,000	0
雑収入	81	100	19
合 計	60,119	140,338	80,219

【特別会計(記念事業等積立金)支出の部】

(単位：円)

費 目	20年度実績	21年度予算	差 異
次年度への繰越金	60,119	140,338	80,219
合 計	60,119	140,338	80,219

お知らせ

【事務局】

広島大学に「中国・四国地方会事務局」を移設して、3年目を迎えました。皆様には地方会運営のための事務処理を円滑に行うために、多大なるご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。年々、中国・四国地方会活動が活発になり有り難く存じております。また、本会の法人化に伴う諸事務もお陰様で順調に進んでおります。より充実した運営を目指し努力をして参る所存ですので、今後とも宜しくお願い致します。つきましては、地方会ならではの良さを發揮すべく、皆様の一層のご指導ご助言の程を宜しくお願い申し上げます。

(事務局：藤井宝恵)



日本看護研究学会中国・四国地方会第23回学術集会のご案内 テーマ 「臨床から“智”をつむぐ研究へのウェーブ」

開催日：平成

22年3月7日（日）9:00～16:30

開催地：香川大学医学部キャンパス

実行委員長：内藤直子（香川大学医学部看護学科教授）

プログラム 午前の部

開会式

一般演題（口演・示説）

ワークショップ

総会

午後の部

特別講演 「質的研究は看護実践を変えられるか：M-G-T-Aの考え方と実際の分析方法」

講師：木下康仁（立教大学社会学部教授）

特別セミナー

【第23回学術集会企画】

特別セミナー 「質的研究用のPCソフト・ATLAS.tiの紹介」

講師 深堀浩樹（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科講師）

【学術委員会企画】

特別セミナー 「英文抄録の書き方」

日本看護研究学会国際活動推進委員

* この他に中国・四国地方会学術委員会が2つの特別セミナーを計画中です。

閉会式

* 問い合わせ先：一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会 第23回学術集会事務局

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部看護学科 Tel&Fax：087-891-2243

（第23回学術集会専用）

e-mail：kuudon@med.kagawa-u.ac.jp

ホームページ：<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~ku23udon/>

* 懇親会のお知らせ

懇親会では、海外でも好評の吉田光華に乙女文楽のみやびな演目「さくら華舞」「静御前」の特別公演や、香川特有の文化で幾万年前の調べ、サヌカイトの演奏等で会員多数の参加をお待ちしています。

実行委員長より会員の皆様へ

看護において、質的研究方法を用いた研究が増え、看護独自の世界から見た患者や家族の体験やその看護を明らかにすることに役立っています。そのような中で、質的研究方法が適切に用いられていない場合も見受けられます。また質的研究方法には、様々な方法があり、新たな方法も開発されています。そこで、身近になった質的研究方法について、改めて学ぶ必要性を感じています。

第23回学術集会のテーマは、「臨床から“智”をつむぐ研究へのウェーブ」です。

臨床にある“智”を良く見える目でとらえ、糸を紡ぐように丁寧にたぐり寄せ、創り出していく研究は、臨床における看護の素晴らしさや人間のすごさに気づかせてくれます。そのような質的研究方法による看護の新たな発見を共にという思いを込めて、学会のテーマを決定しました。

ぜひ、第23回の学術集会で、新しい学びを実感しましょう。瀬戸大橋からの優雅な多島美とおいしい「讃岐うどん」が、皆様をお待ちしています。

発行：一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会事務局
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 広島大学医学部保健学科内
Tel: 082-257-5355

発行責任者 一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会運営委員長 宮腰由紀子
編集責任者 広報委員長 猪下光

